

# キラッと輝く合志人

## 一筆に込める万感の思い

熊本県書道連盟会長 平方 研水 さん(若原)



書道への熱い思いを語る平方さん



①教室に並ぶ平方さんの作品 ②講座受講生が作った篆刻  
③通常より大きな12cm角ほどの篆刻 ④真剣な表情で筆を握る

「今思えば、そのころから書道が好きだったのでしょね」  
書道を始めたのは小学2年生のころだった。周りの子どもたちは誘われたら行く、という程度だった書道教室。平方さんはいつも誘う方だったという。それからずっと書道と向き合ってきた。

しかし、一度は道を離れたこともあった。高校進学を機に、書道の先生が変わったときだ。「先生が変われば、書き方も変わります。その書き方では書きたいと思えませんでした」

そんな中、新たな発見に導かれた。平方さんは力強く語る。「篆刻は書道の始まりだったんです」篆刻とは、篆書体と言われる字体を石などに彫ったもの。

「書道は墨で紙に文字を書くことだけではありません。古く秦や漢の時代は、木のへらなどに文字を書いていました。それよりもっと以前は、石に彫ってありました。つまり篆刻は書道の始まり。それを知って大変衝撃を受け、篆刻を勉強しなければならぬと思いました」

篆刻の第一人者に師事するため、大阪へ。篆刻と書の修行に励むと同時に、文字学の先生からも学んだ。「月に一度の、字の成り立ちなどの講義がとても楽しかったです」

およそ20年の修行の間にさまざまな賞も受賞。技術も実績も積んだ。そして熊本に戻り、篆刻の講座や、自宅で書道教室も始めた。これまで数えきれないほどの人たちに書道を伝え、現在も50人もの弟子がいる。

作品を作り始めると食事を取るのも忘れるほどのめりこむが、楽しみも忘れない。「月に一度は必ず友人と飲みに行きますよ。ここでは、書道家や先生ではなく、普通のおじさんです」

77歳になった今でも、夢を持って書道に向き合う。

「たくさんの人に文字のことを学んでほしい。最初から難しいと構える人が多いかもしれませんが、字の成り立ちや意味が分かれば、きっと面白いですよ」

奥深い世界を、これからも多くの人の心に刻んでいく。

あなたの周りの合志人を探しています  
企画課 企画広報班(合志庁舎) ☎248-1813

あなたの周りにいるキラッと輝く合志人を紹介してください。  
自薦他薦は問いません。たくさんの紹介をお待ちしています。

### 人の動き

人口……61,863 (+79)  
世帯……24,225 (+66)

出生…58 (+13) 転入…225 (-35)  
死亡…39 (-23) 転出…165 (-34)

※6月末現在 ( )内は前月比

**和顔愛語**

P2の竹迫観音祭、ドラランジャーの激突する場面や石段を上る姿は生で見ると写真よりもっと迫力があります。まだ見たことのない人は来年ぜひ行ってください。

観音祭の日もそうでしたが、この酷暑で取材中もたくさん汗をかいたので、帰宅すると泡立つ黄金色の飲み物の誘惑と戦う毎日。戦績は内緒です。

連日の猛暑日で熱中症になってしまう人も多いようです。水分と塩分はしっかりと補給し、冷房も適切に使って我慢せず休息をとりましょう。仕事や勉強・運動を頑張るにも、夏を楽しむにも、まずは体調を大切に。

小山

西日本を中心に発生した豪雨災害により多くの人が被災されました。ここ数年、全国各地で豪雨や土砂崩れ、地震など災害が続いています。

思い返すと、私たちも約2年前に熊本地震を経験しました。

そのとき、全国からたくさん温かい支援をしていただきました。私もできる限り、支援に協力をしていきたいと思います。合志庁舎と西合志庁舎に募金箱を設置し、日本赤十字社やさまざまな機関でも義援金の受付をしています。今度は、私たちが支援をする番です。皆さんの温かいご支援をよろしくお願いします。

井芹

